

シーン - 5 木質バイオマス活用拠点形成事業

事業目的

林内に放置されている切捨間材等の未利用資源を燃料などの原料として新たに利用するための体制整備を推進し、CO₂排出抑制や資源循環型社会の形成に向けた木材資源の有効利用を図り、地球温暖化防止に貢献します。

事業効果

CO ₂ 削減効果	5,096t-co ₂ /年

事業内容

バイオマス加工拠点の形成促進と安定供給体制の整備を支援!!
木質バイオマスの燃料利用の普及を支援!!

1 木質バイオマスステーション形成促進対策

【概要】

(1) 木質バイオマス資源搬入支援

間伐林等から加工拠点までの林地残材の搬出・運搬を助成する

(2) 木質バイオマス出荷拡大支援

移動可能なチップ製造機械等(リース及び保有)による破砕作業を助成する

【実施主体】 県森連、素材生産業者等

【事業量】 原木量: (1)約9千m³、(2)約7千m³

【助成額】 (1)1,500円 / m³、(2)2,000円 / m³

2 木質バイオマス燃料利用普及促進対策

(1) 木質バイオマスボイラー導入設備支援

【概要】 事業者が行う木質燃料利用施設の整備を助成

【実施主体】 農林産事業者, NPO等

【事業量】 1施設程度

【助成額】 10,000千円 / 施設 以内

(2) 木質バイオマス利用地域モデル支援

【概要】 モデル地域でのペレットストーブ購入を助成

【実施主体】 モデル地域世帯

【事業量】 1地域程度(50台)

【助成額】 100千円 / 台 以内



税導入後のイメージ

現状

スギ林の間伐等に伴い、形質不良木や根元部・梢端部・枝葉の大部分が林地に残ります。



木質バイオマス(林地残材)は収集・運搬等に経費を要するため、林地に放置されています。

木質バイオマスを集約的に破砕処理して燃料や原料として有効利用



(チップ)



(ペレット)



(間伐された森林)



(ペレットストーブ)

燃料用や原料用など多方面での木材バイオマス利用が可能になります

間伐推進によるCO₂吸収アップや化石燃料等の代替でCO₂排出抑制